

令和6(2024)年12月期 決算説明会

オエノンホールディングス株式会社

自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、  
人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。

令和7年2月28日

代表取締役社長 西永裕司

証券コード:2533

1. 令和6年度 連結決算概要
2. 中期経営計画2028の進捗状況
3. 令和7年度 通期業績見通し



# 令和6年度 連結決算概要



## 市場・業界の現況

- 業務用市場は二次会需要消失、都市部と地方の二極化がさらに進行
- 物価高に対する生活防衛で個人消費にメリハリの傾向、酒類全般で低調

# 令和6年度 連結決算概要

## 1-12月実績

(億円、%)

	5年	6年	増減	前期比
売上高	849.5	841.0	△8.5	99
営業利益	35.9	34.5	△1.4	96
経常利益	37.0	36.3	△0.7	98
親会社株主に帰属する 当期純利益	33.9	27.3	△6.6	80

加工用澱粉の減 △13.4

販売用不動産の減 △0.7

税金費用 △6.6

# 令和6年度 連結決算概要

## 1-12月実績

(億円、%)

売上高	5年	6年	増減	前期比
酒 類	788	787	△1	100
酵素医薬品	35	42	7	119
不 動 産	12	11	△1	93

# 令和6年度 連結決算概要

## 1-12月実績

(億円、%)

売上高	5年	6年	増減	前期比
酒 類	788	787	△1	100
甲類焼酎	128	122	PB△3 △6	95
乙類焼酎 (混和含む)	231	241	博多の華 すごむぎ +13 10	104
チューハイ	168	169	1	101
アルコール	142	135	△7	95
洋 酒	52	53	1	103

# 令和6年度 連結決算概要

## 1-12月実績

(億円、%)

売上高	5年	6年	増減	前期比
酵素医薬品	35	42	7	119
酵 素	23	29	6	126
発酵受託	8	9	1	109
診 断 薬	4	4	0	100

酵素YNL  
+6



# 令和6年度 連結決算概要

## 1-12月実績

(億円、%)

営業利益	5年	6年	増減	前期比
酒 類	26.3	23.0	△3.3	87
酵素医薬品	3.3	5.3	2.0	163
不 動 産	6.2	6.0	△0.2	98

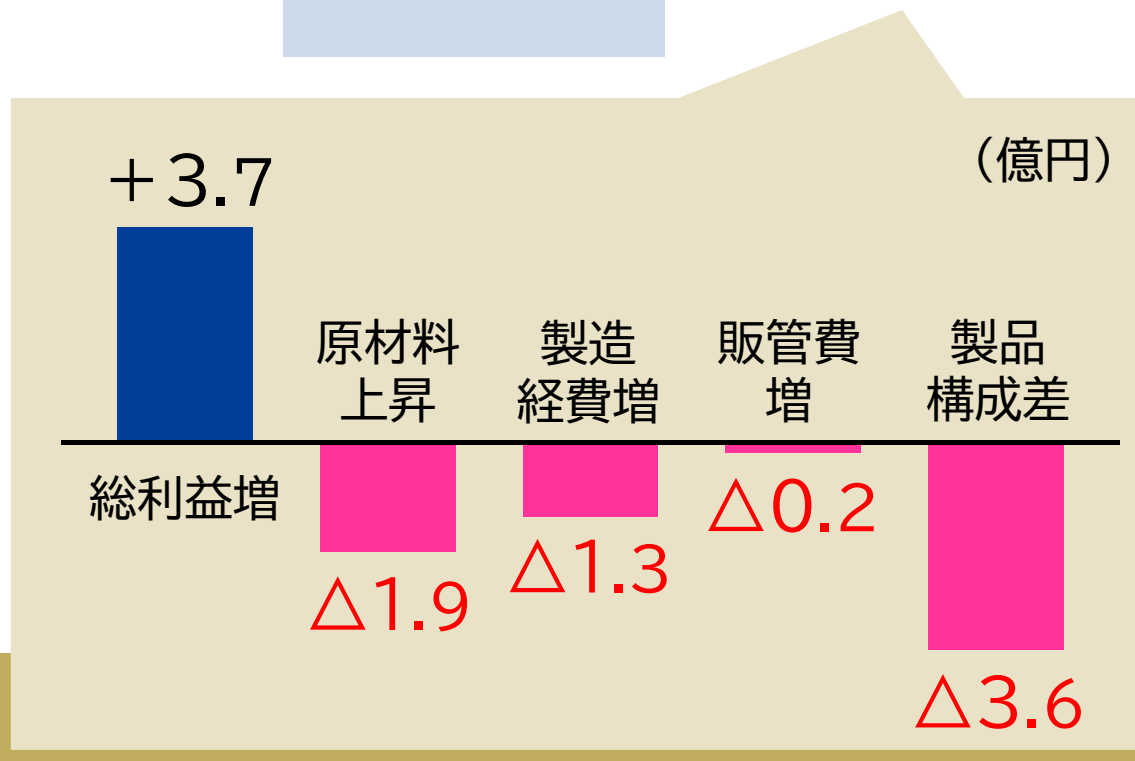
原材料費・人件費・物流費の増

# 令和6年度 連結決算概要

## 1-12月実績

(億円、%)

営業利益		5年	6年	増減	前期比
酒	類	26.3	23.0	△3.3	87

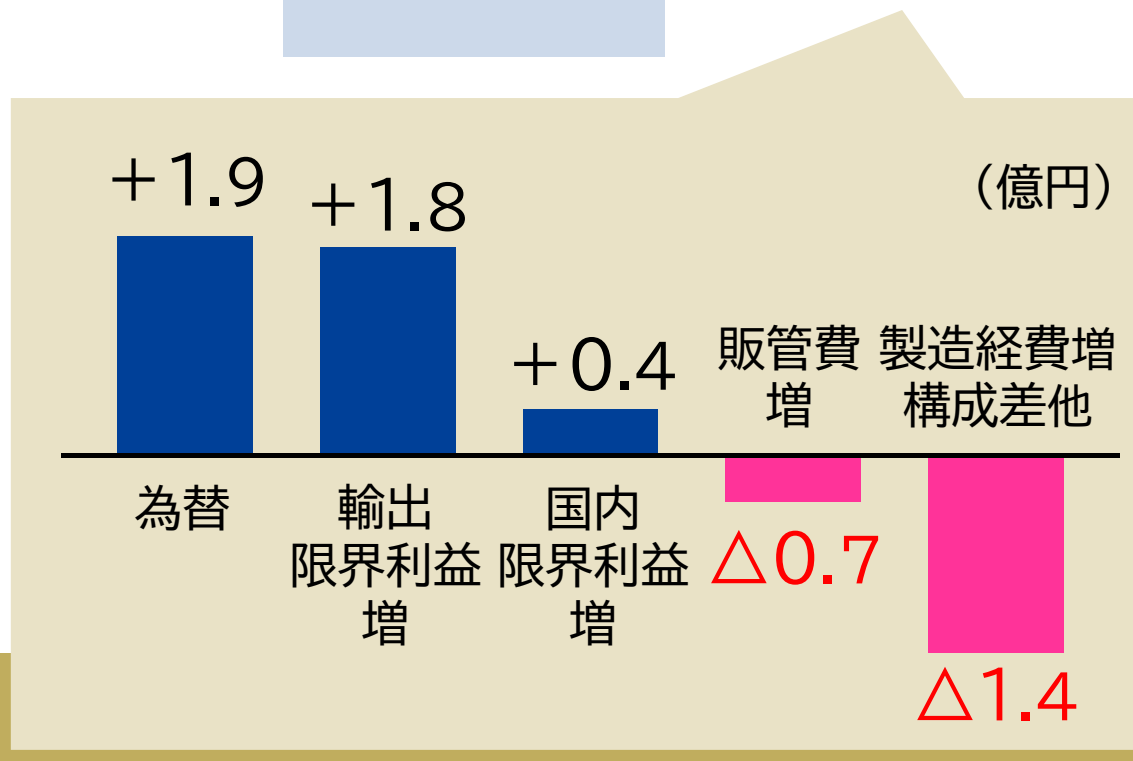


### 利益増減要因

## 1-12月実績

(億円、%)

営業利益	5年	6年	増減	前期比
酵素医薬品	3.3	5.3	2.0	163



### 利益増減要因

## 中期経営計画2028の進捗状況



- 前中期経営計画の定量目標を取り下げ → **結果、利益目標を達成**
- R6.11.7 新中期経営計画2028を発表

## 5年間でなすべき4本の柱

総合焼酎メーカー  
としてのプレゼンス強化

酒類輸出の販路拡大と  
スケールアップ

販売用アルコールの  
安定収益確保

酵素のラインアップ拡充・  
発酵受託ビジネスの拡大

定量目標	R10年目標	増減(R5比)
売上高 (億円)	930.0	+81.0
経常利益 (億円)	45.0	+8.0
経常利益率 (%)	4.8	+0.4
R O E (%)	10.0	<b>△7.3</b>
1株当たり配当金(円)	12	+4

## 株主還元

配 当

DOE(株主資本配当率) **2.5%**程度へ

総還元性向

本計画期間(5年)合計で **30%**以上

## 非財務目標



区分	主な目標・指標	R7年時点	R10年目標
環境問題	生産段階におけるCO <sub>2</sub> 排出量削減 (H25年対比、Scope1+2)	40% (R5.4~R6.3)	≧46% (R12年まで)
企業体質	女性取締役	2名 (R7.3就任予定)	≧1名
	女性活躍 女性経営職(管理職)	12名	≧15名

## 総合焼酎メーカーとしてのプレゼンス強化

- ・嗜好の多様化に対応した新商品創造
- ・リニューアルや集約化等による収益性改善
- ・限界利益額拡大と効率的・効果的な費用支出

(単位:億円)

売上高		R6年	R7年予想	R10年目標	増減(対R7)
甲類焼酎	NB	47	41	40	△1
	PB	75	80	87	+7
乙類焼酎 (混和含む)	博多の華	93	97	102	+5
	すごむぎ・すごいも	60	66	76	+10
チューハイ	NB	22	27	31	+4
	PB	147	143	153	+10

## 輸出酒類の販路拡大とスケールアップ

- ・ 海外現地輸入業者・国内輸出業者との取引強化
- ・ 輸出専用商品、インバウンド向け商品の開発

売上高	R6年	R7年予想	R10年目標	(単位:億円) 増減(対R7)	主要輸出先		
					米国	欧州	アジア 他
チューハイ	2	2	5	+3	○	○	○
清酒	1	1	6	+5	○	○	○
梅酒	1	1	3	+2	○		○
リキュール他	2	3	8	+5	○	○	○
計	7	8	23	+15			



## 販売用アルコールの安定収益確保

- ・ 販売数量維持拡大と獲得利益の最適化
- ・ コスト低減や環境負荷低減の視点を持った設備投資
- ・ 未開拓地域に向けた物流体制の構築

(単位:億円)

売上高	R6年	R7年予想	R10年目標	増減(対R7)
酒 類 用	45	42	54	+12
工 業 用	90	89	97	+8
合 計	135	131	151	+20

## 酵素のラインアップ拡充・発酵受託ビジネスの拡大

### ラクターゼ

- ・ 遺伝子組換品の早期開発、上市  
非遺伝子組換品の収率向上、売上拡大

### 発酵受託

- ・ 乳酸菌受託を軸とした  
発酵受託ビジネスの収益拡大

(単位:億円)

売上高	R6年	R7年予想	R10年目標	増減(対R7)
酵 素	29	29	27	△2
発 酵 受 託	9	10	11	+1
診 断 薬	4	4	3	△1
合 計	42	43	41	△2

# 令和7年度 通期業績見通し



# 令和7年度 通期業績見通し

(億円、%)

	6年	7年	増減	前期比
売上高	841.0	850.0	9.0	101
営業利益	34.5	36.0	1.5	104
経常利益	36.3	36.5	0.2	101
親会社株主に帰属する 当期純利益	27.3	27.5	0.2	101

# 令和7年度 通期業績見通し

(億円、%)

売上高	6年	7年	増減	前期比
酒 類	787	793	6	101
酵素医薬品	42	43	1	103
不 動 産	11	13	2	115

# 令和7年度 通期業績見通し

(億円、%)

売上高	6年	7年	増減	前期比
酒 類	787	793	6	101
甲類焼酎	122	121	PB△1 △1	100
乙類焼酎 (混和含む)	241	248	博多の華 すごむぎ +9	7 103
チューハイ	169	170	1	100
アルコール	135	131	△4	97
洋 酒	53	57	チューハイの素 ウイスキー-香薫 +1	4 106

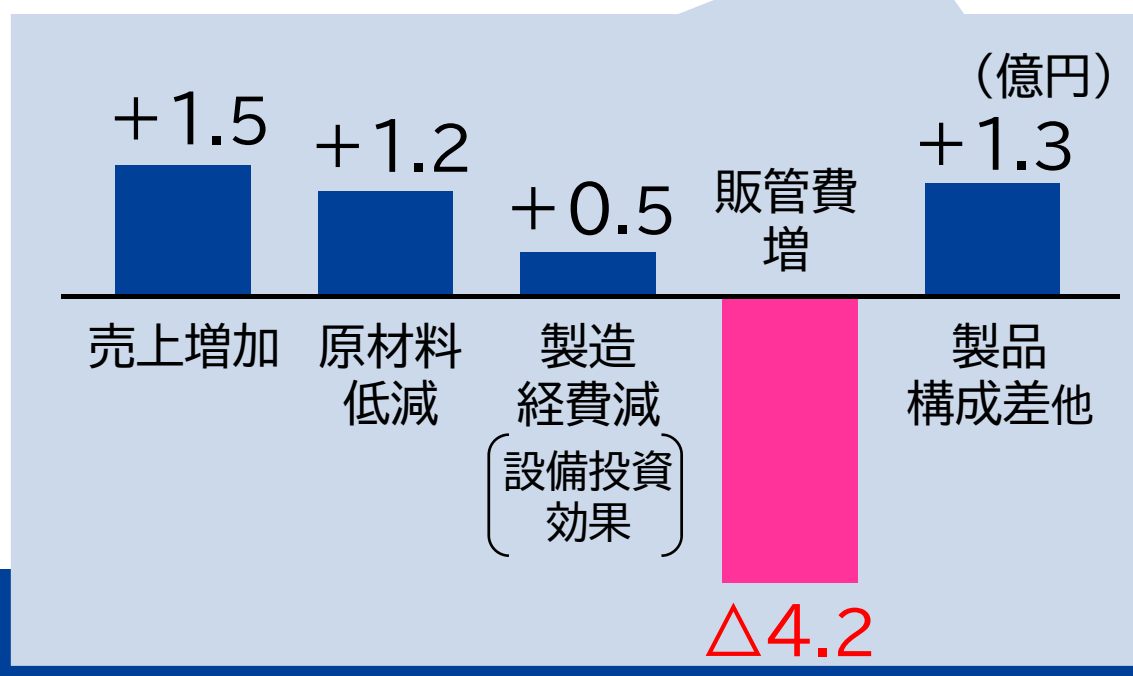
(億円、%)

営業利益	6年	7年	増減	前期比
酒 類	23.0	23.3	0.3	102
酵素医薬品	5.3	5.6	0.3	105
不 動 産	6.0	6.9	0.9	116

## 通期予想

(億円、%)

営業利益		6年	7年	増減	前期比
酒	類	23.0	23.3	0.3	102



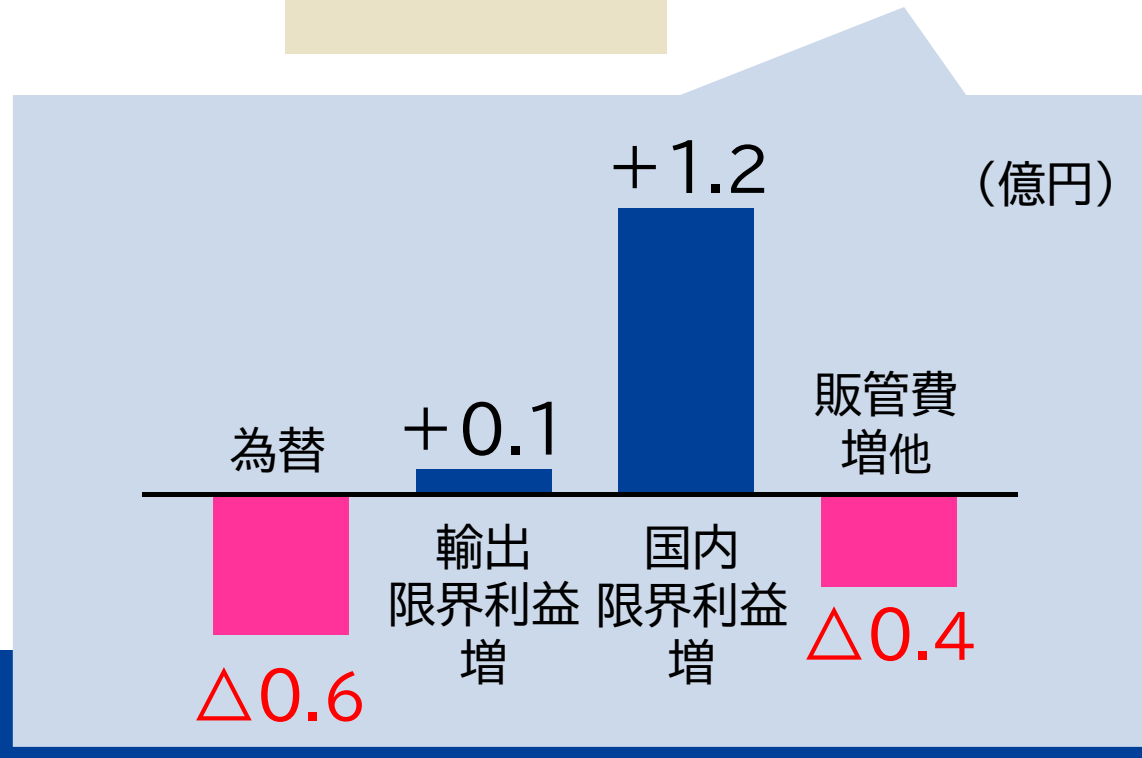
## 利益増減要因



## 通期予想

(億円、%)

営業利益	6年	7年	増減	前期比
酵素医薬品	5.3	5.6	0.3	105



## 利益増減要因



本資料に記載されております将来の見通しにつきましては、  
資料作成時点において入手可能な情報に基づく弊社の判断であり、  
実際の業績につきましては、記載された見通しと異なる可能性があります。  
また、本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としており、  
弊社株式の購入などを勧誘するものではありません。  
銘柄の選択、投資の最終決定はご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

オエノングループホームページ  
<https://www.oenon.jp>